

「おいしいコーヒーの真実 映画上映&トークショー」

桜坂劇場・てんぶす那覇・NPO 共同企画 報告書

映画上映+トークショー+フェアトレード商品販売を行いました！簡単な報告をどうぞご覧下さい！



舞台のトークショーの様子



風の里（フェアトレード販売）



エコショップえころん（フェアトレード販売）



ONE LOVE（フェアトレード販売）



がじゅまるガーデン（フェアトレード販売）

◇日時・会場◇

8月31日(日) 13:00～ 15:00～ 17:00～

9月1日(月) 13:00～ 15:00～ 19:00～

会場：てんぶす那覇4階 テンブスホール

主催：桜坂劇場

共催：那覇市ぶんかテンブス館

◇参加団体◇

- ・風の里（南城市 新里）
- ・エコショップえころん（那覇市 首里）
- ・エコショップ・がじゅまるガーデン
（運営：沖縄地域環境アSEMBリー）
（那覇市 松尾）
- ・沖縄キリスト教学院大学
国際平和文化交流センター（西原町）
- ・ONE LOVE（沖縄キリスト教学院大学内 NGO）
- ・沖縄 NGO 活動推進協議会（宜野湾市）

◇観客者数◇

381名

◇テーマについて◇

「おいしいコーヒーの真実」

フェアトレードがヨーロッパ地域で始まり、約40年、日本で取り入れられるようになり約30年という歴史の中で、本格的にフェアトレードについて語った映画である。

世界の貧困や経済格差が年々高まっている背景の裏には、仕組みられた貿易構造があり、その貿易構造に対して、さらにその仕組みを構築している我々先進国に対して警告を鳴らす映画である。

テーマとして大きく取り扱っていること

- ・世界の貿易構造と、創り出される貧困問題について
- ・コーヒーを始めとして、第一次産品等買い叩かれる仕組み、安い労働力を介して生産されている仕組み。
- ・不公平な貿易ではなく、公平な貿易を求めるアフリカ（エチオピア）の動き



沖縄 NGO 活動推進協議会
(書籍閲覧、質問・相談コーナー)

◆イベント来場者の感想(抜粋・要約)◆

学生／24 歳／女性

私はコーヒーが好きで、いつもスタバのコーヒーを飲んでいますが、そのコーヒー一杯でこんなにも考えさせられたということに、この映画の良さがあると思います。ただ、この映画を知らない、フェアトレードのことを知らない人々がまだまだ多いのが残念。

そういうことを知ってもらう機会も少ないのでは、と

思います。そこで私が出来る事は何だろうと考えると「おいしいコーヒーの真実」を人に伝えて広めていくことかなと思います。という訳でさっそく明日友達に話したいと思います。この映画、観て良かった。

学生／23 歳

話の途中から吐き気がしてしょうがなかった。無知は罪になるんだと思った。知って良かったです。これからです。もう少し期間や時間を増やしてもらえたら嬉しいです。

職業：介護職／28 歳／女性

募金などの援助だけでは本当の意味での解決にならない事に気がつかされました。

目先の損得だけでなく、もっと創造力を持って生活していかなければと思います。

現実を知るよいきっかけになりました。

OL／35 歳／女性

なんだかコーヒーを飲むにくくなりました。私はコーヒーを週に 1 回は飲んでいたのでコーヒー 1 杯にこんなにつらいものがあるなんて・・・「ダーウィンの悪夢」に続いてアフリカのドキュメンタリーは考えさせられました。いつも弱い人たちが犠牲になっているのが悲しいです。フェアトレードというものに私もちゃんと見ていくようにしたいと思いました。この食に関わる世界中の途上国の人々を日本も考えていけたら本当に素晴らしいと思いました。

32 歳／女性

フェアトレードのことは知っていましたが、今日の映画を観ていかに重要なものかわかった。食べる事もままならない中、子供達の教育のためにお金を作ろうとしたりしている姿にとっても胸が苦しくなった。これからは生産者のことまで考えて物を買おうと思います。

30 歳／男性

今日車でラジオを聞いて、上映している事を知り、観に来ました。世界の現実、現況はまだ知らないことが多く、自分にとって何ができるのかを考えながら日々を過ごす毎日です。世界のいろいろな所でいろいろな活動が行われていることが知る事ができる機会ができとても嬉しかったです。

30 歳／男性

外資系のコーヒーショップにかなり行っていたので、とても複雑な気持ちになりました。真実を知った上で商品やコーヒーの選択をしていきたいと思います。また、それが生産者のプラスになることを願っています。

30 代／女性

ドキュメンタリーの内容がしっかりしていて、とても面白かった。フェアトレードの商品を買ったりすることもあるが、現状が良くわかって良かった。これからもっと行動に移していきたいと思う。(つい情報で知っても行動に移せてない時が多い・・・変えていきたい)

41 歳／女性

毎日の生活の中に欠かせないコーヒー。暑い夏、家ではゴクゴクたくさん飲んで、ショップでは高価なおいしいコーヒーを飲んだりしていますが、そのコーヒーの生産者がこんな状況であるなんて思いもしませんでした。

これからは生産者を思い、感謝して頂く 1 杯になります。私が小さい頃？いつか？エチオピアの貧困や飢餓が問題になっていた事が思い出されました。今もそうなのかとは思いませんでした。こんなにマスメディアが発達して情報があふれていても知らない事は多いんだなと思います。できることはフェアトレードで買い物をすること。プレゼントもしてみようかな。そして話す。広げていきたいです。

70 代／男性

グローバル市場経済の中の流通過程の搾取の構造がコーヒー産業に典型的に示された。エチオピアの生産農家の貧困が身にしみる。ブラジルの沖縄移民も初期はコーヒー栽培の奴隷的労働でさんざん苦勞した。他事とは思えない。

職業：農業／29 歳／男性

コーヒーは好きでよく飲みます。僕らがコーヒーを消費すればするほど生産者の利益になればいいのに。それが普通だと思う。でも、そうではないし、日本の農家もそれと同じ悩みを持っている。

◇最後に◇

今回、多くの参加者との出会いは、私たち NGO、フェアトレード商品取り扱い団体のメンバーにたくさんの元気を与えてくれました。映画を通して考える事、そして私にできる一歩としてフェアトレード商品との出会い、参加者一人ひとりの意見もとても貴重です。またこのような回を催していきたいので、こんな映画があるよ！という方、事務局まで声を掛けてくださいね。